

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

- CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。  
放送日時：3月11日～4月10日  
月・水・金・日 9:30・20:30  
火・木・土 12:30・20:30
- FMよっかいちで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪!」でも紹介します。  
放送日時：3月12日・26日 8:54・14:54

## ○活動を始めるきっかけ

平成8年ごろ、市立四日市病院内で、患者さんの入院生活を手助けするボランティアの導入についての話が持ち上がりました。当グループの会長が、当時、在宅介護の活動をしていたことから、病院側から声を掛けられ、市社会福祉協議会を含めた3者で具体的な活動や体制についての話し合いを始めました。

そして平成9年4月、県内の公的病院としては初めてのボランティアグループが誕生したのです。

## ○患者さんのための活動

グループが誕生して以来、病院を取り巻く環境の変化に合わせてさまざまな活動をしてきましたが、現在は、主に3つの活動をしています。1つ目は、病院に来られた患者さんに対する外来ホールでの案内。2つ目は、入院患者さんに楽しい時間を過ごしていただくためのレクリエーション。3つ目は、これも入院患者さんを対象に、図書の巡回貸し出しを



受付機の使い方を説明



レクリエーションではリハビリに効果のある体操もします



図書の貸し出し。病棟を回って患者さんに声をかけます

## 市立四日市病院ボランティア ふれあいグループ

オレンジエプロンがトレードマークのふれあいグループの皆さんは、通院・入院される市民の皆さんと病院をつなぐ活動をされています。今年、活動20周年を迎える皆さんに、普段の活動や今後の抱負などについて伺いました。

しています。巡回する階（病棟）の患者さんの層に合わせて図書を選んでいるんですよ。

## ○モットーは「いつもさわやかな笑顔でさっそうと」

多くの患者さんは、忙しい日常生活の中、なんとか時間をつくって病院へ来られます。また、さまざまな不調や不安を抱えています。そんな患者さんにも気持ちよく病院を利用してもらえるよう、「笑顔で、的確に、丁寧に」対応することを心掛けています。

また、外来ホールのベンチの置き方など、活動の中で気付いた業務改善の可能性について病院側に提案し、病院の利便性が向上するよう努めています。

## ○20年の節目を迎えて

20年前に活動の内容や病院との役割分担をしっかりと決めることができたことが、活動を続けてこられた要因だと感じています。

私たち自身も勉強して成長しながら、今後も「市立四日市病院はオレンジエプロンの人たちがいるから安心」と言ってもらえるよう、次は30年を目指して活動を続けていきたいと思っています。

### ふれあいグループ20周年記念のつどい

結成20周年を記念して講演会を開催します。

時 3月11日(土) 13:30～15:00

所 市立四日市病院2階 講堂

- 内 ①ボランティア活動紹介  
②バイオリン演奏 (奥村優さん)  
③講演「ゆたかに生きる

～認知症を前向きに～  
(脳神経内科 家田俊明医師)

料 無料 他 手話通訳あり

どなたでも  
参加できます。  
気軽にお越し  
ください。